



住江織物株式会社

Suminoe Textile Co., Ltd.

CONTENTS

コーポレートメッセージ	1
中長期経営目標	5
ハイライト	7
連結財務諸表	8
事業概況	9
トピックス	11
ガバナンス	13
株式情報	14

第132期 報告書

2020年6月1日 ▶ 2021年5月31日

SUMINOE REPORT

コーポレートメッセージ

ESG 経営を徹底し 未来を見据えたビジネスモデルを構築します。

代表取締役社長

ながた てっぺい

永田 鉄平

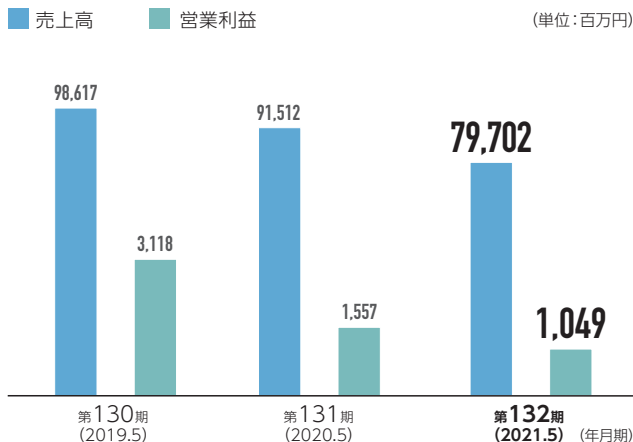
このたび、代表取締役社長に就任いたしました永田 鉄平でございます。
今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期(2021年5月期)の業績

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大および長期化が経済へ大きなダメージを及ぼしました。景気動向は回復基調にあるものの、個人消費が停滞するなど依然として先行きは不透明な状況です。今後のワクチン接種による集団免疫の獲得で、経済活動が正常化に進むことが期待されます。世界経済においては、中国では他地域に先行して景気が回復し、米国ではワクチン接種が後押しとなり景況感が改善しました。そうしたなか、当社グループの当期連結業績は、売上高797億2百万円(前期比12.9%減)、営業利益10億49百万円(同32.6%減)、経常利益12億11百万円(同8.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益4億9百万円(同186.4%増)となりました。

売上高は、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、インテリア事業では業務用タイルカーペットや壁装関連が

連結業績推移



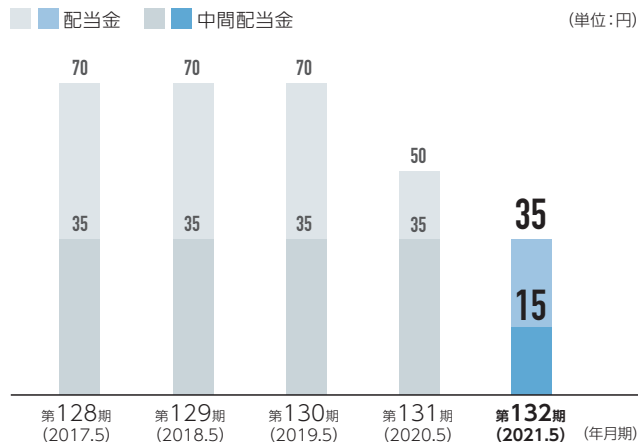
伸び悩み、自動車・車両内装事業では日系自動車メーカーの生産台数減少や、公共交通機関の利用者減少ならびにインバウンドの大幅な縮小等により減収となりました。営業利益および経常利益は、売上の減少にともない減益となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益として投資有価証券売却益や固定資産除却損、減損損失等を計上したことが影響し増益となりました。

なお、当期の配当金は、新型コロナウイルス感染拡大が事業へ大きく影響したため、中間は1株当たり15円、期末は20円とし、年間35円とさせていただきます。

コロナ禍での社会の変化への対応

緊急事態宣言の発令に伴い、当社グループでも在宅勤務や時差出勤を取り入れ、それと同時にウェブ会議システムの

配当金



※ 株式併合後を基準に算出した値を表示しています。

さらなる活用や通信設備の増強を推進しました。今後も多様な働き方を取り入れるとともに、人事評価制度の改革にも取り組み、生産性向上や社員エンゲージメントの強化につなげていきます。

社会的にも在宅勤務が急速に浸透したことから、生活環境の見直しや充実を図りたいというニーズが増加しており、それに応えるべくEコマースの強化やSNSの活用などを進めています。そのほか、抗菌・抗ウイルス商材の拡充や機能加工技術の開発も継続して取り組んでいきます。

中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」を策定

コロナ危機を乗り越え、次なる成長ステージへと踏み出すには、ビジョンを共有できていることが重要と考え、2021年

コーポレートメッセージ

6月から始まる中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」を策定しました。

環境への取り組みを強化

当社グループにおける環境への取り組みの歴史は長く、50年前に排水と煤煙処理に配慮した無公害型の奈良工場を建設したことから始まります。ペットボトルの廃棄処理による環境汚染が社会問題となるなかで、1990年にペットボトル由来の再生糸「スミトロン®」を開発し、2011年には国産の使用済みタイルカーペットを再生材原料とした水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」を発売しています。これまでの10年間で「ECOS®」によるCO₂排出削減貢献量は9万トンに相当しますが、これからの10年間では22万トンの削減を目標に取り組んでいきます。2021年6月には「CO₂削減見える化委員会」を立ち上げ、現状のCO₂排出状況をLCA（ライフサイクルアセスメント）の観点から調査、把握した上で数値目標を立て、その達成へ向け取り組みます。

また、製品に使用する糸への着色方法を、大量の水と電気を使用する「後染め」方式から、排水の問題がなくCO₂排出

量も比較的少ない「原液着色（紡糸段階で顔料による着色を施す）」方式に転換しています。

今後さらに、全部門において生産工程の省力化、再生可能エネルギーの利用、物流改革を進め、環境負荷の低減を図るとともに、包括的にCO₂削減を進めていきます。

事業活動を通じた社会課題への取り組み

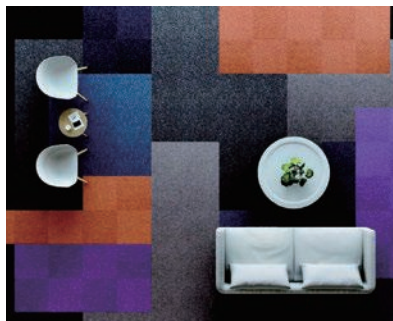
ウイルス対策が社会的な課題となるなか、当社グループでは抗菌・抗ウイルス商材を拡充しています。当社独自の複合機能加工「トリプルフレッシュ®デオ」と、クラブウが開発した抗菌・抗ウイルス機能繊維加工「フレンゼ®」を柱に、カーペットやカーテンなどのインテリア商材を、これまでの医療施設向けなどにとどまらず一般家庭向けにも展開し、また、バス・鉄道のシート地への抗菌・抗ウイルス加工も進めています。

社員が健康的に働けるように、職場環境の改善にも取り組んでいます。在宅勤務・時差勤務の制度化や仕事と育児・介護の両立支援などを進め、社員が安全・安心に働ける環境を整備することで、企業の長期的な成長を実現します。

ガバナンスのさらなる強化

グローバル基幹システムの再構築による収支や在庫のタイムリーな把握など事業活動プロセスの透明化や、役員自らが現場を巡回する「歩き回る経営」を継続し、ガバナンスのさらなる強化に努めています。また、社員の心理的安全性の確保にも今まで以上に取り組み、意見を言いやすく、風通しの良い企業風土を醸成していきます。

以上のようにESG経営を徹底しグループ一丸となって、お客様をはじめとするステークホルダーのみならず、そして社会に必要とされる企業として事業を推進していきます。



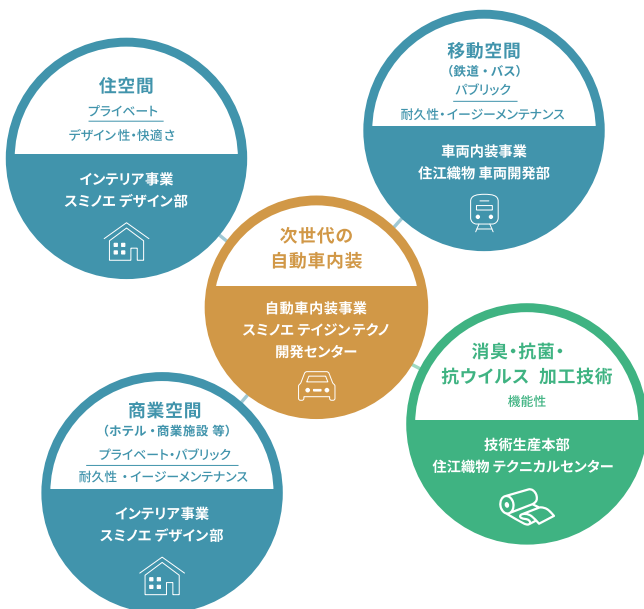
ECOS®[LP-2000N NEXUS]
ECOS®[LP-3100 MELANGE]

原液着色方式のナイロン糸を使用した、
水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」シリーズの拡充

未来を見据えたビジネスモデルの構築へ

当社グループの知を結集し、単なる製品販売にとどまらない、社会やお客様の潜在ニーズに応える提案型サービスに力を入れ、未来を見据えたビジネスモデルの構築を目指します。

次世代自動車内装では、自動車・車両内装事業とインテリア事業が共同プロジェクトとして開発を進めています。自動運転が進めば自動車内はリビングのようなよりくつろぎのある空間となり、デザイン性の高いインテリアが求められます。カーシェアリングが進めば、自動車はさまざまな人と共有するパブリックな空間となり、高い耐久性とイージーメンテナンス性が求められます。自動車内装とインテリア内装、車両内装のすべてを手掛ける企業は非常に少なく、当社グループならではの強みです。



130年を超えて培ってきた強みを活かし、CASE・MaaS時代の新たなカーインテリアのデザインを探索

さらにスペース デザイン ビジネスでは、株式会社シーピーオーを中心に、商業施設をはじめホテルやオフィスでも「空間」全体の設計・デザインから施工・施工管理まで、お客様の要望に高いレベルでお応えしています。将来的には、超高齢化社会を迎える日本において、介護を必要とされる人たちがより安全に過ごせる空間づくりにも力を入れ、社会の課題解決の一助となるべく取り組んでいきます。

2022年5月期の見通し

2022年5月期の数値計画は、2021年7月27日付「業績予想の修正に関するお知らせ」により、売上高 864 億 8 千万円、営業利益 11 億 6 千万円、経常利益 18 億 6 千万円、親会社株主に帰属する当期純利益 11 億 3 千万円としています。なお配当金については、中間・期末ともに1株当たり35円、年間70円に増配させていただく予定です。

株主のみなさまへ

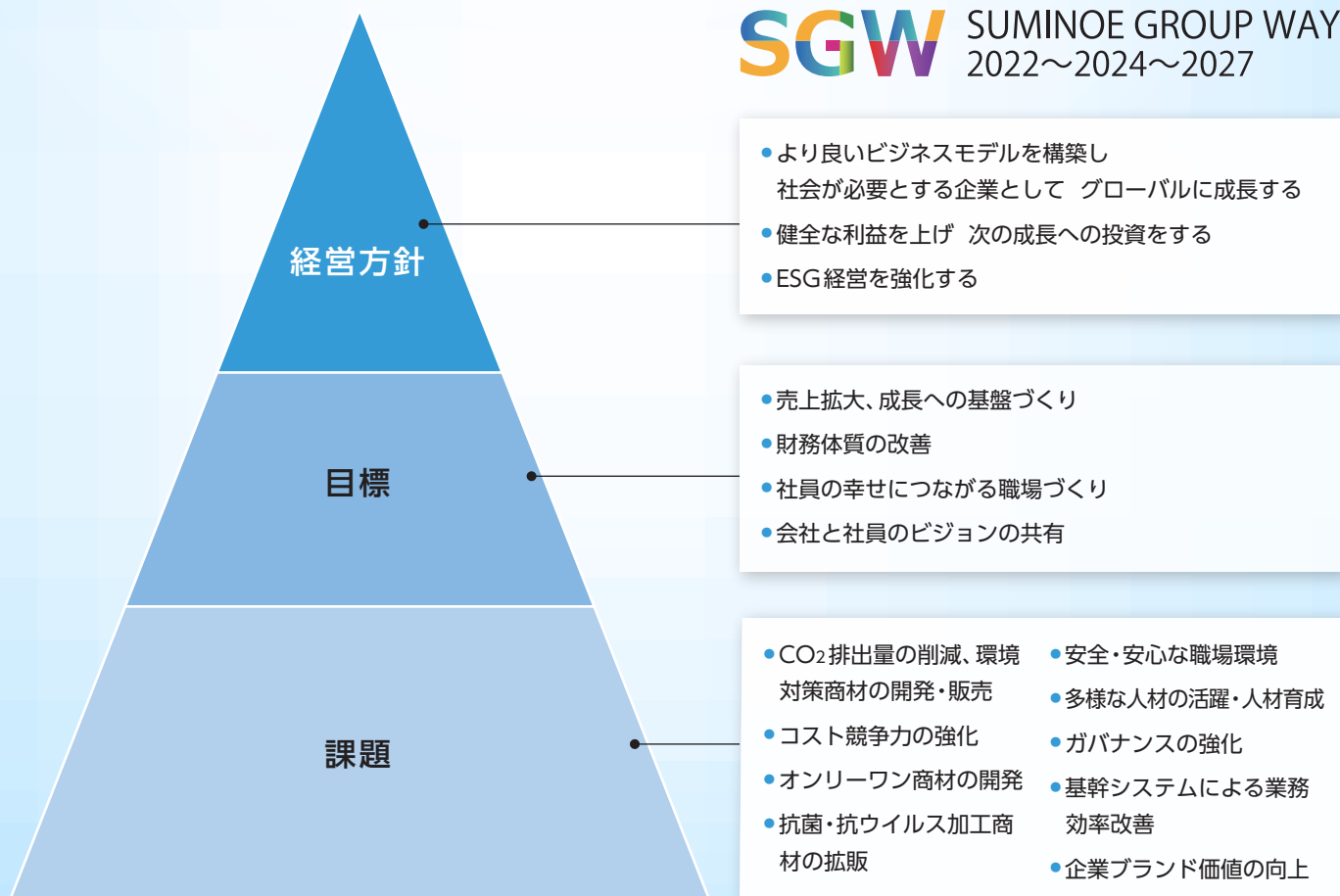
当社グループを支えてくださる株主様、お客様、お取引先様をはじめ、あらゆるステークホルダーのみなさまからの「信頼」に今後も応えていけるよう、長期的な事業戦略と足元の状況とを常に照らし合わせながら、一步一步確実に歩んでいきます。2022年4月の東京証券取引所の市場再編に対しても、プライム市場上場維持に向けてあらゆる施策を講じていきます。機関投資家に加え、個人投資家向けのコミュニケーション機会を増やすなど、IR活動にも積極的に取り組みます。

株主のみなさまには今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中長期経営目標

2021年6月から開始する中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」を新たに策定しました。これまで当社グループが取り組んできたESG経営のもと、社会のニーズに応える商材の拡販とグローバル経営を推進し、グループ社員全員の力を合わせて、この中長期経営目標に取り組んでまいります。

中長期的な「ありたい姿」を見据え、2027年5月期までの方針を定めました。



ESGの取り組み

Environment (環境)

- CO2 排出量削減への取り組み
- 環境対応型商材の開発

Social (社会)

- 社員への取り組み
- 安全・安心な職場環境の整備
 - ダイバーシティ & インクルージョン
 - 人材育成、人材活用
 - 全方向コミュニケーション
- 社会貢献活動
- 災害時における貢献
 - 貧困・飢餓への支援寄付

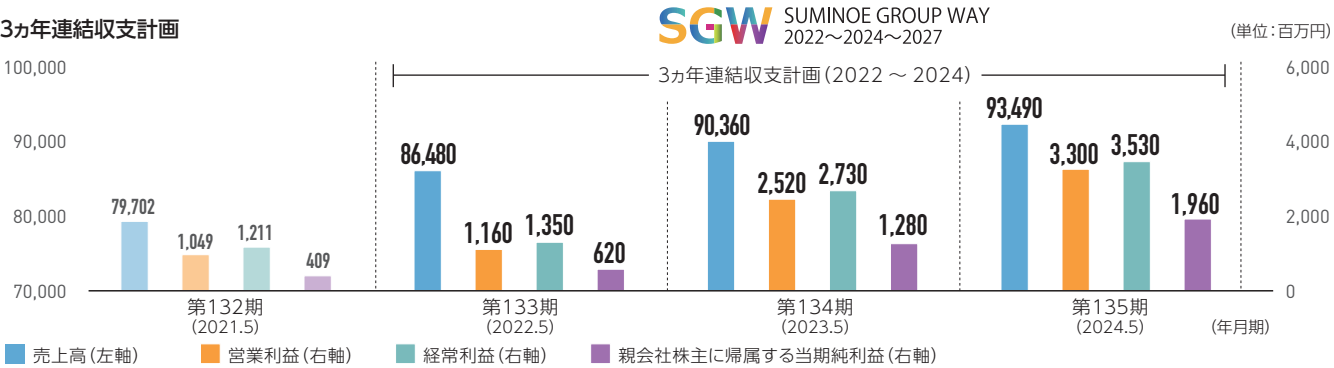
Governance (ガバナンス)

- 基幹システムの再構築
- 社外取締役による経営の意思決定の強化
- 歩き回る経営による双方向コミュニケーション
- コンプライアンス研修の継続実施
- 「企業倫理ホットライン」のさらなる周知
- グローバル・リスクマネジメントの強化
- BCP 行動計画

3ヵ年連結収支計画 (2022年5月期～2024年5月期) 概要

当社グループは、ESG経営を念頭に置き、各事業セグメントにおいて、脱炭素社会に貢献する商材および抗菌・抗ウイルス機能加工商材の開発・拡販を進めます。また、基幹システムの再構築により経営基盤を強化すると同時に事業所の再編を進めることで、生産性・競争力向上を図り、さらなる効率化を目指します。

3ヵ年連結収支計画



※第133期 (2022.5) の業績予想は、2021 年7月 27 日付で修正していますので、P.4「2022 年5月期の見通し」をご覧ください。

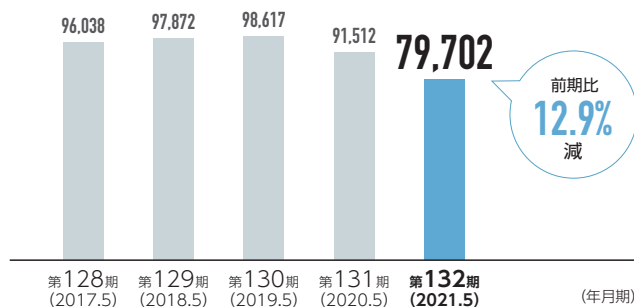
セグメント別数値目標

		実績	3ヵ年連結収支計画 (2022 ～ 2024)			
		2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	
インテリア事業	売上高	31,024	33,750	34,430	35,120	
	営業利益	579	400	450	520	
自動車・車両内装事業	売上高	45,102	48,980	51,910	54,170	
	営業利益	2,102	2,800	3,590	4,170	
機能資材事業	売上高	3,130	3,410	3,680	3,840	
	営業利益	△87	△140	150	190	

ハイライト

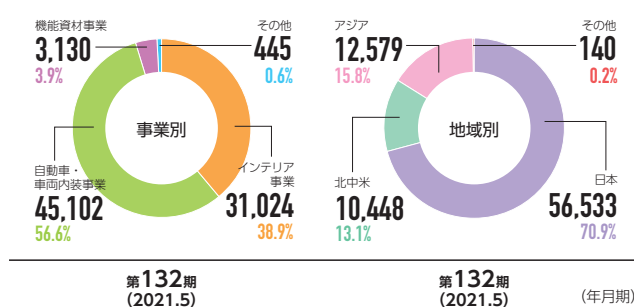
売上高

(単位:百万円)



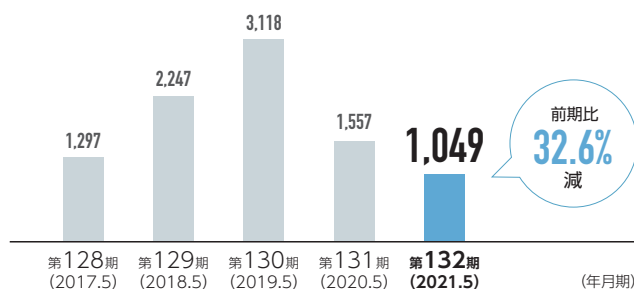
売上高構成比

(単位:百万円)



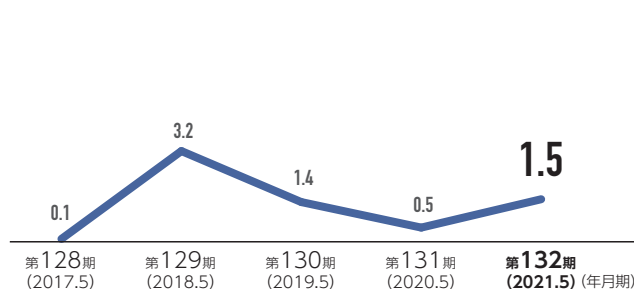
営業利益

(単位:百万円)

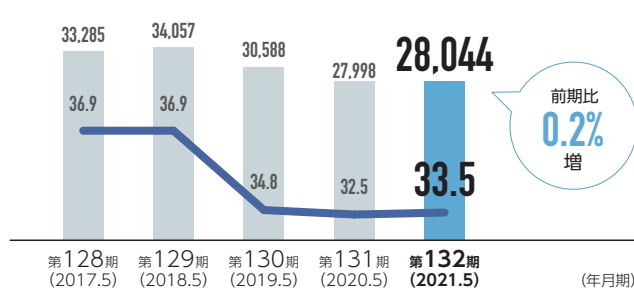


ROE (自己資本利益率)

(単位:%)

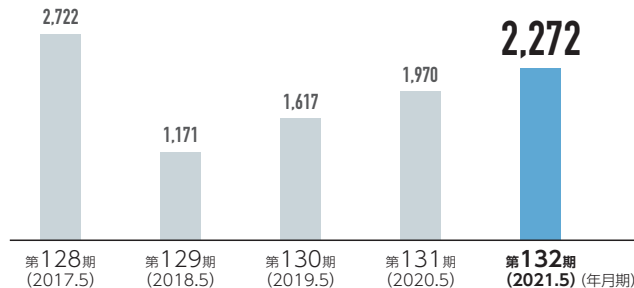


自己資本・自己資本比率

(単位:百万円)
(単位:%)

設備投資

(単位:百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 2020年5月31日現在	当 期 2021年5月31日現在
資産の部		
流動資産	48,688	46,557
現金及び預金	10,500	10,936
受取手形及び売掛金	14,502	14,147
電子記録債権	6,469	5,846
たな卸資産	14,939	12,861
その他の資産	2,276	2,765
固定資産	37,584	37,111
資産合計	86,272	83,669
負債の部		
流動負債	33,868	31,856
固定負債	19,821	18,856
負債合計	53,690	50,712
純資産の部		
株主資本	18,641	18,878
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,651	2,640
利益剰余金	10,452	10,672
自己株式	△ 4,017	△ 3,988
その他の包括利益累計額	9,357	9,166
非支配株主持分	4,583	4,911
純資産合計	32,582	32,956
負債純資産合計	86,272	83,669

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期 2019年6月 1日から 2020年5月31日まで	当 期 2020年6月 1日から 2021年5月31日まで
売上高	91,512	79,702
売上原価	72,837	62,876
売上総利益	18,674	16,826
販売費及び一般管理費	17,116	15,776
営業利益	1,557	1,049
営業外収益	716	738
営業外費用	950	575
経常利益	1,323	1,211
特別利益	406	1,447
特別損失	74	694
税金等調整前当期純利益	1,655	1,964
法人税等合計	1,105	1,050
当期純利益	550	914
非支配株主に帰属する当期純利益	407	504
親会社株主に帰属する当期純利益	142	409

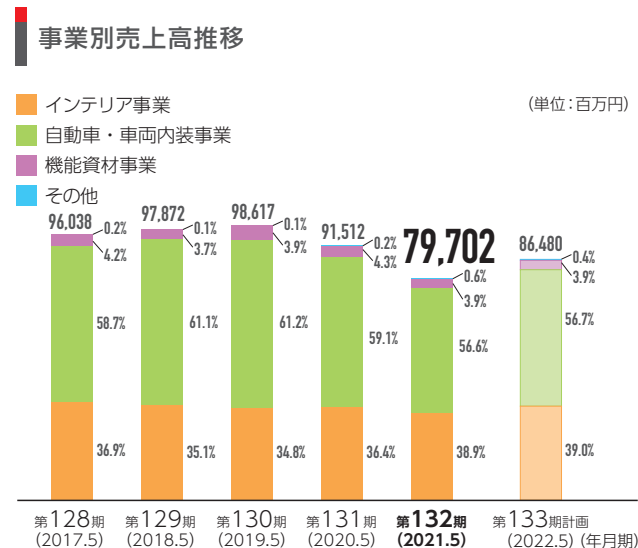
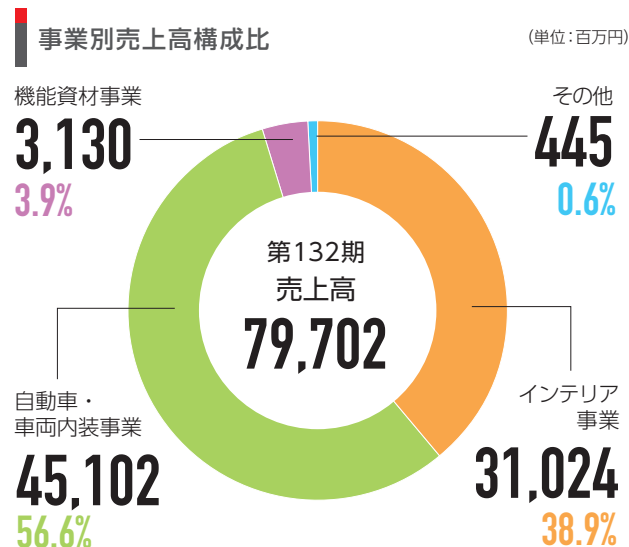
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

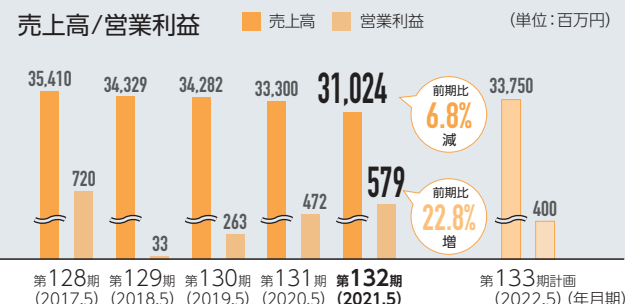
科 目	前 期 2019年6月 1日から 2020年5月31日まで	当 期 2020年6月 1日から 2021年5月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,901	3,985
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,536	△ 572
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,702	△ 3,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 109	208
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,554	447
現金及び現金同等物の期首残高	7,754	10,309
現金及び現金同等物の期末残高	10,309	10,756

事業概況

当期のセグメント別の概況をご報告申し上げます。



インテリア事業



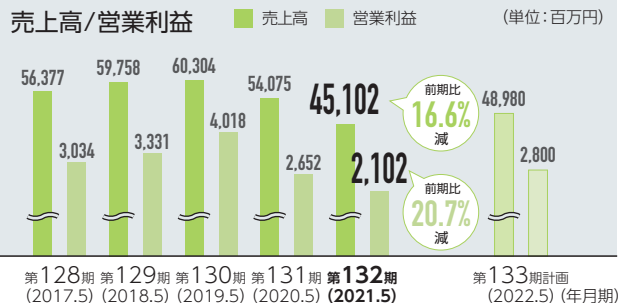
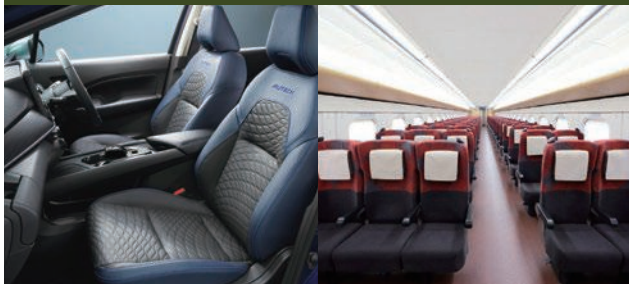
当期の業績

ウェブならびに店舗販売向けの家庭用カーペットが好調となったものの、業務用タイルカーペットや壁装関連の商材が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け低迷したことで、インテリア事業全体の売上は減少しました。

来期の見通し

ホテル、商業施設など大型物件の新設は引き続き低調な状況が予想されます。SUMINOEブランドの認知向上に取り組みつつ環境対応型商材や抗菌・抗ウイルス商材の拡販に努めます。また当期好調となったウェブ販売向けにもさらに力を入れていきます。

自動車・車両内装事業



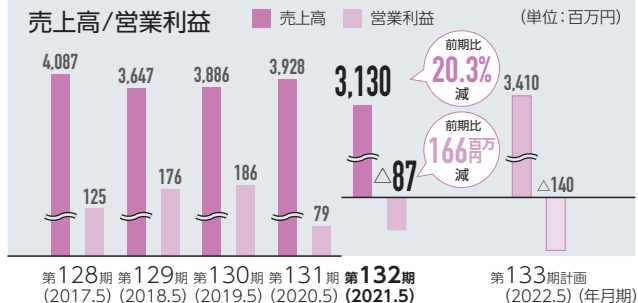
当期の業績

自動車関連は、日系自動車メーカーのグローバル生産台数の減少を受け、売上が減少しました。車両関連は、公共交通機関の利用者数減や国内旅行およびインバウンドの大幅な縮小が影響し、鉄道・バスの内装需要が低下しました。

来期の見通し

自動車関連は、自動車生産台数の復調が期待され、国内・海外ともに前期比増収となる見通しです。車両関連は、引き続き厳しい状況が予想されますが、抗ウイルス機能加工内装材や環境対応型シート地の開発に取り組んでいきます。

機能資材事業



当期の業績

空気清浄機などに内蔵される消臭フィルターや浴室床材が好調に売上を伸ばしたものの、電気カーペットや、ルーフィング材、土木用資材、航空機内装材などの売上が振るわず、機能資材全体の売上は減少しました。

来期の見通し

電気カーペットの生産拠点である中国およびベトナムの工場再編を進め、最適な供給体制を構築していきます。既存事業での確実な受注に取り組むとともに、市場ニーズに応じた新たな機能加工品等の商品開発、販売に取り組めます。

トピックス

インテリア事業

①

グループ唯一の木工家具製作を行う
株式会社シーピーオー（八王子工場）

新しく子会社となった株式会社シーピーオーは、店舗設計に関する深い知見と卓越した施工ノウハウを持ち、小売業や飲食店等を中心に内装を手掛けています。シーピーオーが保有する八王子工場では木工家具を製作しており、店舗やオフィスそれぞれに合わせたオリジナル家具を提供できます。

2020年8月にグループに加わって以降、当社グループの紹介案件をいくつも手掛けるようになっており、徐々に相乗効果が出てきています。今後は得意とする店舗のほか、保育園・学校、医療施設へと事業領域を拡大していきます。



①

インテリア事業

②

「アクリエひめじ」に当社の緞帳が採用

姫路駅周辺の地区整備事業「キャスト21計画」の一環で、文化と芸術の拠点として建設された「アクリエひめじ」の舞台ホールに当社の綴織緞帳が採用されました。緞帳デザインは、2020年に亡くなった姫路市出身の世界的デザイナー高田賢三氏が手掛け、約9ヵ月かけて手作業で織り上げました。大ホールは、太陽が白鷺城（姫路城）を大地とともに照らしていく情景を、中ホールは、次第に太陽がゆっくりと西へ姿を隠していく夕映えの幻想的な光の中に浮かぶ白鷺城の情景を、それぞれシャクヤクの花のモチーフとともに表現しています。高田賢三氏の想いを緞帳で忠実に再現し、納入時に高い評価をいただいています。



②

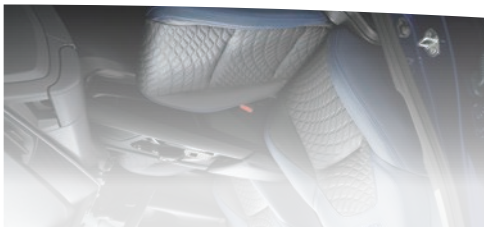
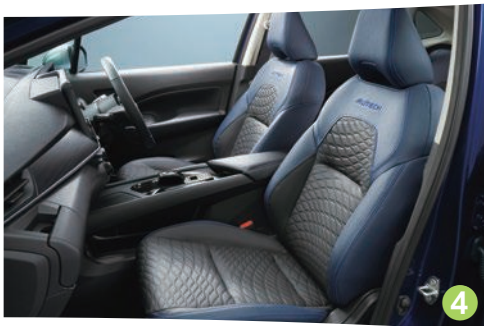


③



日産「ノート」に当社の内装材・外装材が採用

当社の製品が、2020年12月発売の日産自動車の新型車「ノート」のシートメイン材、サイド材、ヘッドレスト、背裏材、外装材、フロアマットなどに採用されました。「ノート」はユーザーの高い支持と評価とともに進化を遂げた日産を代表するモデルで、第2世代の「e-POWER」(電動パワートレイン)を初搭載するなど新しい先進コンパクトカーとして生まれ変わりました。当社が納入したオーテックブランドの合成皮革シートメイン材は、湘南の海の「波のイメージ」をモダンにアレンジしたグラフィックが特徴です。また全グレード向けの毛足が長く高級感のあるフロアマットは、ワンランク上の洗練された空間を演出しています。



京浜急行電鉄新造車両1000形に当社の内装材が採用

京浜急行電鉄は、座席指定列車や貸し切りのイベント列車などフレキシブルな運用に対応するとともに安心・快適にご利用いただけるよう、車内設備を一新した新造車両を導入しました。座席指定列車や貸し切りのイベント列車に対応できるようロングシートからクロスシートに切替可能な自動回転式座席を採用し、座席幅も京急車両の中で一番広い座席となっています。座席には、「三浦半島の旅」を想起する「波」をイメージしたデザインで、抗菌・抗ウイルス機能繊維加工技術「クレンゼ®」を施した、当社のシート地が採用されています。



ガバナンス

役員 (2021年8月27日現在)

取締役

取締役会長	吉川 一三
代表取締役社長※	永田 鉄平
代表取締役※	薄木 宏明
取締役※	丸山 敏朗
取締役※	木村 栄一郎
社外取締役	清水 春夫
社外取締役	野村 公平
社外取締役	牧野 考一
社外取締役	種田 ゆみこ

監査役

常勤監査役	市川 清一
社外監査役	園田 篤弘
社外監査役	片山 貴文

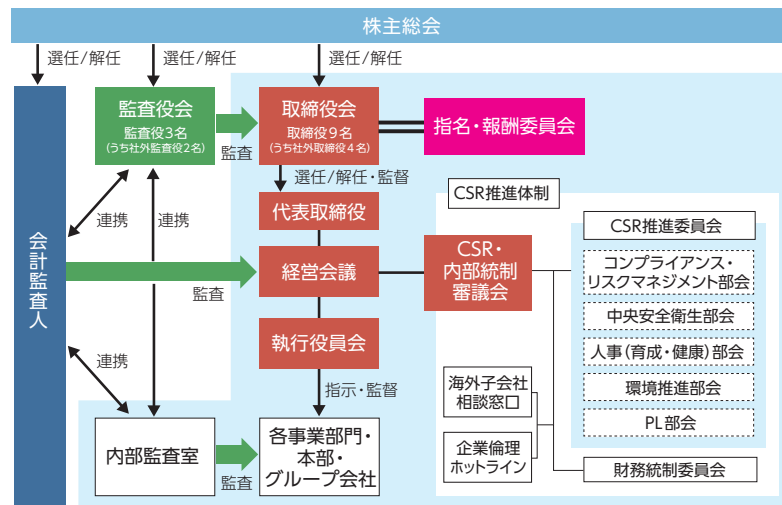
執行役員

上席執行役員	新實 啓悦
上席執行役員	駒形 淳一
上席執行役員	村瀬 典久
執行役員	松山 光伸
執行役員	関口 修一
執行役員	福岡 正也
執行役員	瀬戸 貞弘
執行役員	河合 勝也

執行役員	吉澤 朋宏
執行役員	諏訪 和晃
執行役員	川西 浩文

※の取締役は上席執行役員を兼務します。

コーポレートガバナンスとCSR推進体制図



歩き回る経営

当社は、経営幹部と従業員が情報共有し、双方向コミュニケーションを図るために、129期(2018年5月期)より「歩き回る経営」を実践しています。役員(取締役・執行役員)が、住江織物の事業所やグループ会社などを訪問し、各現地の従業員と意見交換を行っています。

住江織物グループは、企業行動基準において、「すべての事業活動の全プロセスにおいて、人の安全と健康の確保を最優先します。」と謳っています。

この企業行動基準を徹底すべく、2021年3月に「安全衛生対策本部」を立ち上げました。感染症予防対策を行った上で、滋賀工場において、経営幹部・工場幹部を交えてキックオフミーティングを行いました。意見交換のあと、製造ラインの視察を全員で行い、より一層「安全第一」への意識を高めました。



株式情報

株式の状況 (2021年5月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	7,682,162株
株 主 数	3,876名

大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株 式 会 社 高 島 屋	924	14.64
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	501	7.94
丸 紅 株 式 会 社	366	5.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信 託 口)	282	4.47
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	234	3.71
林テレンプホールディングス株式会社	233	3.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託ユニチカ口)	178	2.83
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	174	2.76
住 江 織 物 共 栄 会	144	2.29
住 江 織 物 従 業 員 持 株 会	144	2.28

- ※ 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 当社は自己株式(1,363,878株)を保有していますが、上記大株主からは除いています。
また、持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

本報告書、株式に関するお問合せ先

住江織物株式会社 本社総務部

TEL : 06-6251-6801 FAX : 06-6251-0862

株主メモ

決算日	5月31日
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年5月31日 中間配当 毎年11月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 当社ホームページをご覧ください。 https://suminoe.co.jp/ir/

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話	0120-288-324 (フリーダイヤル)
URL	https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	口座を開設されている証券会社	
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿 管理人	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座 管理機関	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿 管理人	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

※ 未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社、株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店でお取り扱いいたします。

会社情報

会社概要 (2021年5月31日現在)

会 社 名	住江織物株式会社
	Suminoe Textile Co., Ltd.
U R L	https://suminoe.co.jp/
本 社 所 在 地	〒542-8504 大阪市中央区南船場三丁目11番20号 TEL:06-6251-6801
創 業	1883年(明治16年)
合 資 会 社 創 立	1913年(大正2年12月25日)
株 式 会 社 設 立	1930年(昭和5年12月26日)
資 本 金	95億5千4百万円
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
従 業 員 数	253名(連結2,724名)

主要国内グループ会社

- ① 株式会社スミノエ
- ② ルノン株式会社
- ③ 住江物流株式会社
- ④ スミノエ テイジン テクノ株式会社
- ⑤ 住江テクノ株式会社



S・I・P(スミノエ・インテリア・プラザ)

- ⑥ 大阪ショールーム
- ⑦ 東京ショールーム

海外グループ会社

- ① Suminoe Textile of America Corporation
- ② Bondtex, Inc.
- ③ Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.
- ④ 住江互太(広州)汽車繊維製品有限公司
- ⑤ 蘇州住江小出汽車用品有限公司
- ⑥ 住江織物商貿(上海)有限公司
- ⑦ 蘇州住江織物有限公司
- ⑧ T.C.H. Suminoe Co., Ltd.
- ⑨ PT. Suminoe Surya Techno
- ⑩ PT. Sinar Suminoe Indonesia
- ⑪ Suminoe Teijin Techno Krishna India Pvt. Ltd.
- ⑫ Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.
- ⑬ Suminoe Textile Vietnam Co., Ltd.

